

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
110024	XXX110024			国際学部国際文化学科	基礎	選択	1年
授業科目	担当教員			国際学部国際文化学科英語集中コース	基礎	選択	1年
		2	後期	情報文化学部情報文化学科	基礎	選択	3年
福祉社会論	阿部 春江			情報文化学部情報システム学科経営コース(26年度以降)	基礎	選択	1年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26年度以降)	基礎	選択	1年
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25年度)	基礎	選択	3年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(25年度)	基礎	選択	3年
				情報文化学部情報システム学科(24年度以前)	基礎	選択	3年

授業目的

社会福祉とはわたしたちの生活問題を支援・解決し予防していくことである。最初に時代とともに変化してきた社会福祉政策の歴史や市場の論理とは異なる視点を持つ福祉思想について学ぶ。次に現代社会の状況や社会福祉の課題について理解するとともに、利用者にとって望ましい福祉サービスのあり方について習得する。また身近な生活問題に対して援助活動を実践していくための基本について学ぶ。

各回毎の授業内容

第1回

【授】はじめに
【前・後】復習・予習に努めること。以下、毎週同じ。

第2回

【授】社会福祉の思想1 一社会福祉における自立の概念一
【前・後】講義ノートや配付資料を見直しておくとともに、授業中に指示したテキストの該当箇所を熟読しておくこと。

第3回

【授】社会福祉の思想2 一自立生活支援の考え方一
【前・後】前回の講義ノートや配付資料を見直しておくとともに、授業中に指示したテキストの該当箇所を熟読しておくこと。

第4回

【授】社会福祉の思想3 一ノーマライゼーションとソーシャルインクルージョンの思想一
【前・後】前回の講義ノートや配付資料を見直しておくとともに、授業中に指示したテキストの該当箇所を熟読しておくこと。

第5回

【授】社会福祉の課題1 一貧困・ケア・社会的排除の問題一
【前・後】前回の講義ノートや配付資料を見直しておくとともに、授業中に指示したテキストの該当箇所を熟読しておくこと。

第6回

【授】社会福祉の課題2 一虐待の問題一
【前・後】前回の講義ノートや配付資料を見直しておくとともに、授業中に指示したテキストの該当箇所を熟読しておくこと。

第7回

【授】社会福祉と身近な生活問題1 一若者の貧困-
【前・後】前回の講義ノートや配付資料を見直しておくとともに、授業中に指示したテキストの該当箇所を熟読しておくこと。

第8回

【授】社会福祉と身近な生活問題2 一孤立化する若者-
【前・後】前回の講義ノートや配付資料を見直しておくとともに、授業中に指示したテキストの該当箇所を熟読しておくこと。

第9回

【授】サービスの利用 一福祉サービスの利用主体と利用支援一
【前・後】前回の講義ノートや配付資料を見直しておくとともに、授業中に指示したテキストの該当箇所を熟読しておくこと。

第10回

【授】相談援助の視点1 一生活モデルの視点とエンパワメント一
【前・後】前回の講義ノートや配付資料を見直しておくとともに、授業中に指示したテキストの該当箇所を熟読しておくこと。

第11回

【授】相談援助の視点2 一コミュニケーションスキルと困難事例一
【前・後】前回の講義ノートや配付資料を見直しておくとともに、授業中に指示したテキストの該当箇所を熟読しておくこと。

第12回

【授】福祉ボランティア 一福祉ボランティアの歴史と特徴一
【前・後】前回の講義ノートや配付資料を見直しておくとともに、授業中に指示したテキストの該当箇所を熟読しておくこと。

第13回

【授】社会福祉と身近な生活問題3 一認知症の理解一
【前・後】前回の講義ノートや配付資料を見直しておくとともに、授業中に指示したテキストの該当箇所を熟読しておくこと。

第14回

【授】社会福祉と身近な生活問題4 一認知症への対応一
【前・後】前回の講義ノートや配付資料を見直しておくとともに、授業中に指示したテキストの該当箇所を熟読しておくこと。

第15回

【授】レポート発表と意見交換1
【前・後】前回の講義ノートや配付資料を見直しておくとともに、授業中に指示したテキストの該当箇所を熟読しておくこと。

第16回

【授】レポート発表と意見交換2

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加	◎	◎	◎	○	○		50
成果発表(口頭・実技)	◎	◎	◎	○	○		50
演習							
その他							

教科書参考書

教科書：教科書は使用しない。講義時に資料を配布する。

参考書：授業指定図書（図書館ホームページにて公開）。

受講に当たっての留意事項

授業は前半を講義形式、後半は事例検討等をグループごとで行い考察を深める。各回の授業内容はシラバス作成時点のものであり変更の可能性もある。第1回目に、授業内容・成績評価方法等詳細について説明する。

学習到達目標

時代や社会の動きとともに変化し発展してきた福祉理念・福祉政策・援助活動等について理解するとともに、生活問題や福祉の課題について考察する力を身につけることができるようになる。身近な生活問題に関心をいただき、自分の生活問題に対応できる力を身につけることができる。

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習